

## 平成 20 年度第 7 回（10 月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成 20 年 10 月 9 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 40 分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：今井、運天、吉本、大垣、荒木、田畑、高橋、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上、事務（仲野）
- ◇ 欠席者：竹浦、高田、清水、井戸田
- ◇ 議 長：今井

### 【 討議内容 】

#### I. 行動報告（9 月分）

別紙参照

#### II. 経過報告

##### 1. 日臨技

報告事項なし

##### 2. 近臨技

- ・ 10 月 5 日に近臨技の支部化に関する対応及び公益法人対策部会会議を大臨技事務所で開催した。近臨技の現在の事業を引き続き行うにあたり予算措置を考慮して欲しい旨の要望書を作成し、次回近臨技理事会で提案する。近臨技理事会で承認されれば、11 月の日臨技理事会に提案する。
- ・ 10 月 19 日に近臨技理事会と近臨技学術部会を開催する。

##### 3. 事務局

〈総務部〉9 月 17 日に部会を開催した。

- ・ 10 月理事会の開催準備を行った。
- ・ 「大臨技会員名簿（平成 20 年 8 月 1 日現在）」の目視による校正作業を行った。
- ・ 「年輪」の作成について検討した。原稿の提出を 10 月末までとした。
- ・ 大臨技後援・共催規程について討議した。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース 9 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。
- ・ 大臨技ニュース 10 月号完成版について討議した。

〈会計部〉9 月 17 日に部会を開催した。

- ・ 9 月度収支決算書を作成した。
- ・ 日臨技へ 9 月分会費の送金を行った。

〈渉外部〉9 月 16 日に部会を開催した。

- ・ 府民健康フォーラム（11 月 22 日）の最終確認を行った。
- ・ 合同フォーラムの検討を行った。

平成 21 年 1 月 17 日（土）13：00～17：00 大阪市立中央青年センターにて  
テーマは「40 歳からの特定健診、今回は公開講座ということで参加費は無料とする。  
後援依頼は大阪府は放射線技師会、大阪市は当会が担当する。

- ・ 手話講演会について検討した。

- ・ 献血推進活動（平成 21 年 2 月 14 日）の企画案の検討を行った。

#### 4. 事務局

〈情報組織部〉 9 月 18 日に部会を開催した。

- ・ 8 月 16 日大阪府立成人病センターで開催した新入会員研修会の反省を行った。
- ・ 11 月 7 日大臨技事務所で開催される第 2 回職域部会の進行について検討した。  
テーマは「人事考課制度の実際」講師は運天副会長、その後ディスカッションを行う。
- ・ 平成 21 年 2 月 21 日住友病院で開催される技師長会の内容について検討した。

〈地区事業部〉 9 月 18 日に部会を開催した。

- ・ 9 月 13 日 JICA 大阪で開催した会員交流会の反省会を行った。
- ・ 新事業について検討を行った。
- ・ 微生物迅速検査事業について話し合った。学術部と日程、会場等の調整を行っている。

〈学術部〉

- ・ 9 月 20 日あべのメディックスで第 12 回大臨技フォーラムを開催した。  
テーマは「緊急検査、その式」とし、4 症例をもとにディスカッションを行った。
- ・ 10 月 7 日 ICLS 部会を開催、約 40 名の参加があった。次回は 11 月 30 日に開催予定である。

### III. 他、報告

#### 1. 9 月 13 日（土）JICA 大阪で開催された会員交流会の報告（田畑地区事業部長）

- ・ JICA 仏語圏アフリカ臨床検査研修員の方々を囲み 3 部構成で行われた。
- ・ 次回より本来の目的である会員の交流を目指し企画をして行きたい。
- ・ 日臨技の支部化に際し、今後の会員交流会のあり方も変わってくる。

#### 2. 第 4 回府民健康フォーラムの進捗状況（竹浦副会長）

- ・ 開催日時・場所：11 月 22 日（土）14 時～17 時・大阪 YMCA 国際文化センター
- ・ テーマは「運動療法とメタボリックシンドローム～メタボといわれたあなたへ」
- ・ 13 時から 14 時まで各団体による相談コーナーを設け、大臨技は藤岡氏（生理部門）・栗本氏（渉外部担当理事）、杉山氏（総務部）が担当する。
- ・ フォーラム終了後、3 団体（薬剤師会、臨床検査技師会、栄養士会）で懇親会を行う。

#### 3. データ標準化事業の進捗状況（山西理事）

- ・ 参加施設は、一般施設 64 施設、基幹施設 9 施設、賛助会員 17 社の計 90 施設である。
- ・ 14 日の本番に向け、13 日 9：00 より大阪市立大学附属病院でサンプル調整を行う。
- ・ 採血ボランティアに交通費 2,000 円と会議費として 1,000 円を支給する。
- ・ 10 月 24 日大臨技事務所で、目標値の設定についてメーカーと基幹施設担当者を含めプロジェクト会議を開催する。

#### 4. 9 月 20 日（土）に開催された大臨技フォーラムの報告（高田常務理事）

- ・ 参加者は 125 名であった。
- ・ 今回参加者の意見を反映し、次回より参加者に配布する小冊子等の準備を行う。

#### 5. 事務局からの報告（運天副会長）

- ・ 事務所の印刷経費が増えていることもあり、会議資料等はできるだけ各自で準備する。

#### 6. その他

- ・ 日水製薬（株）より「第 23 回臨床検査精度管理奨励会研究報告会」の後援名義申請に対し、前年度に準じ承認することとした。

この件に関して、他団体主催の研修会参加に対する生涯教育点数加算の申請については、自己申告書で行う旨のアナウンスを再度する必要がある。

#### IV. 議 題

##### 1. 後援・共催等の規程について（吉本常務理事）

- ・ 「主催・共催・協賛・後援取扱内規（案）」に基づき内容説明があった。
- ・ 他団体の事業に対して当会側が共催・協賛・後援依頼を受ける場合、また当会主催事業に対して他団体から共催、協賛、後援を受ける場合を想定している。
- ・ 認可基準に従い最終は理事会で判断し決定する。
- ・ 「協賛・後援認可申請書」「共催に関する申請書」「共催・協賛・後援事業報告書」「共催・協賛・後援に関する協定書」「共催・協賛・後援認可決定通知書」等の書式も含め理事会において継続審議することとした。
- ・ 「主催・共催・協賛・後援取扱規程」は大臨技の「内規」として取り扱うこととする。

##### 2 その他

- ・ 吉本常務理事より、新規印刷会社のフジイ・カラーリプロ（株）作成の大臨技ニュース 10月号に対し、会員より以前の紙面に比べ見やすくなったとの意見および労いに関する内容のメールが大臨技宛に寄せられたとの報告があった。今後も、より良い紙面作りのために多くの方の意見をいただきたい。
- ・ 大臨技ニュース 11月号に臨床化学検査部門より「第 31 回日本血栓止血学会学術集会」の掲載依頼があったが、従来通り他団体からの大臨技ニュースへの掲載依頼は、大臨技ホームページ掲載申請書による申請を厳守してほしいとの注意があった。